



2021年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年9月3日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ハイレックスコーポレーション
 コード番号 7279 URL <http://www.hi-lex.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺浦 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループ担当執行役員 (氏名) 芦田 安功 TEL 0797-85-2500
 四半期報告書提出予定日 2021年9月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第3四半期の連結業績 (2020年11月1日～2021年7月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第3四半期	169,096	20.1	3,285	—	5,176	—	7,704	—
2020年10月期第3四半期	140,760	△23.3	△1,304	—	△539	—	△2,949	—

(注) 包括利益 2021年10月期第3四半期 13,875百万円 (—%) 2020年10月期第3四半期 △5,165百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第3四半期	202.64	202.33
2020年10月期第3四半期	△77.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第3四半期	250,556	182,971	67.1
2020年10月期	240,510	172,771	65.6

(参考) 自己資本 2021年10月期第3四半期 168,195百万円 2020年10月期 157,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	11.00	—	23.00	34.00
2021年10月期	—	17.00	—	—	—
2021年10月期 (予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年10月期の連結業績予想 (2020年11月1日～2021年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,700	13.2	3,500	—	5,800	—	6,100	—	160.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 連結業績予想の修正については、本日 (2021年9月3日) 公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期3Q	38,216,759株	2020年10月期	38,216,759株
② 期末自己株式数	2021年10月期3Q	341,588株	2020年10月期	194,812株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期3Q	38,019,123株	2020年10月期3Q	38,020,708株

（注）「役員向け株式交付信託」が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3【1. 当四半期決算に関する定性的情報】「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張、中国経済の動向、金融資本市場の変動、新型コロナウイルス感染症の変異ウイルスによる感染再拡大の影響に加え、世界的な半導体供給不足といった新たな問題も発生し、不透明な状況で推移いたしました。さらに、これらの状況が今後も継続し影響が長期化することも懸念されております。

各地域別での世界経済は、同感染症による深刻な影響が続くなかで、ワクチン接種の拡大等により、前年同期比では景気は緩やかな回復基調となっているものの、変異ウイルスによる感染再拡大への懸念に加え、世界的な半導体供給不足による生産活動への影響等、依然として予断を許さない状況となっております。

米国ではワクチン接種の拡大やバイデン政権による経済対策等により景気は回復基調にあるものの、鋼材や非鉄金属価格の上昇、ナイロン樹脂材等の供給不安、自動車向け半導体の供給不足の長期化の影響が懸念されます。

中国では、政府による強力な感染症対策により、感染状況は落ち着いており、景気は堅調に推移している一方で、半導体の供給不足による自動車メーカーの減産等が懸念されます。

アジアでは、感染症拡大が続くなかで経済活動再開が進み、持ち直しの動きが見られたものの、東南アジアを中心に同感染症の再拡大にともなうロックダウンの実施、半導体供給不足などにともなう自動車メーカーの減産による景気の腰折れが懸念されます。

欧州ではワクチン接種が進むことで、経済活動の持ち直しが期待されるものの、同感染症のための様々な規制措置と半導体の供給不足による自動車メーカーの減産等が、景気回復の下押し圧力となることが懸念されます。

日本経済におきましては、感染再拡大の深刻化による緊急事態宣言の再発令や半導体の供給不足による自動車メーカーの減産影響など、依然として先行きが不透明な状況が続くものと予測されます。

自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は前年同期比9.7%増の650万台となりました。海外では、米国の自動車生産台数は前年同期比20.9%増の729万台、中国の自動車生産台数は前年同期比17.8%増の2,080万台となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、従業員および関係者の健康と安全を最優先事項とし、時差出勤やリモートワーク等の実施による同感染症防止策を徹底しつつ、生産性の向上や経費削減といった合理化による収益の確保に全社を挙げて努めてまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、世界各国の経済活動が前年の感染症による停滞から再開に転じたことから、中国、アジア、日本、北米および欧州など総じて顧客の生産が増加しましたが、一方で第3四半期以降に感染症の再拡大および世界的な半導体供給不足による自動車メーカーの減産の影響もあり、売上高は1,690億9千6百万円（前年同期比283億3千6百万円増、20.1%増）となりました。

営業損益については、販売の回復に伴い前年同期比では増加となったものの、主に世界的な鋼材・非鉄金属および樹脂材の高騰により材料コストが上昇したこと、世界的なコンテナ不足等により輸送コストが高止まりしたこと、米国を中心に感染症の影響による労働者不足に伴う生産効率の低下および人件費が急増したこと等の影響が第3四半期以降において当初の想定を大きく上回って推移したことから悪化し、当第3四半期連結累計期間の営業利益は32億8千5百万円（前年同期は13億4百万円の営業損失）に留まりました。

経常損益は、主に受取配当金4億9千8百万円、持分法による投資利益3億5千9百万円および受取利息2億7千8百万円による収益を計上した影響等により、51億7千6百万円の経常利益（前年同期は5億3千9百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は、投資有価証券売却益45億4千2百万円、関係会社出資金売却益12億3千5百万円、受取保険金4億円、補助金収入3億4千7百万円および収用補償金1億8千7百万円を特別利益に計上した一方で、固定資産圧縮損2億9千7百万円を特別損失に計上したことから77億4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期は29億4千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ100億4千6百万円増加し、2,505億5千6百万円となりました。主として、現金及び預金が41億3千3百万円、投資有価証券が24億5千1百万円それぞれ減少したものの、有価証券が57億9千1百万円、原材料及び貯蔵品が35億9千9百万円、商品及び製品が16億1千1百万円および流動資産のその他が15億8千2百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ1億5千3百万円減少し、675億8千5百万円となりました。主として、未払法人税等が19億8百万円、1年内返済予定の長期借入金が14億3千2百万円それぞれ増加し、製品保証引当金が9億8千8百万円、長期借入金が8億3千1百万円、固定負債のその他が6億2千7百万円、支払手形及び買掛金が6億4千9百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ102億円増加し、1,829億7千1百万円となりました。主として、利益剰余金が61億3千3百万円、為替換算調整勘定が55億7千4百万円それぞれ増加し、その他有価証券評価差額金が14億8千2百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2021年6月4日に公表いたしました通期（2020年11月1日～2021年10月31日）業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2021年9月3日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,359	45,226
受取手形及び売掛金	35,227	36,699
電子記録債権	1,527	1,634
有価証券	3,642	9,434
商品及び製品	8,691	10,302
仕掛品	2,578	2,803
原材料及び貯蔵品	10,825	14,425
その他	5,067	6,649
貸倒引当金	△496	△710
流動資産合計	116,423	126,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,085	22,042
機械装置及び運搬具（純額）	21,086	22,039
工具、器具及び備品（純額）	2,559	2,947
土地	7,991	8,200
建設仮勘定	4,431	5,443
その他（純額）	2,349	2,280
有形固定資産合計	60,504	62,954
無形固定資産		
のれん	1,959	1,796
その他	2,332	2,140
無形固定資産合計	4,292	3,936
投資その他の資産		
投資有価証券	53,675	51,224
長期貸付金	43	22
退職給付に係る資産	435	435
繰延税金資産	1,633	1,710
その他	4,713	4,933
貸倒引当金	△1,214	△1,126
投資その他の資産合計	59,286	57,199
固定資産合計	124,083	124,090
繰延資産	3	1
資産合計	240,510	250,556

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,856	26,207
短期借入金	3,809	3,640
1年内返済予定の長期借入金	644	2,077
未払法人税等	801	2,709
賞与引当金	1,697	1,387
役員賞与引当金	17	30
製品保証引当金	2,976	1,988
その他	11,804	12,083
流動負債合計	48,608	50,126
固定負債		
長期借入金	2,799	1,967
繰延税金負債	11,695	11,440
退職給付に係る負債	2,167	2,212
その他	2,466	1,838
固定負債合計	19,130	17,459
負債合計	67,739	67,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,657	5,657
資本剰余金	7,343	7,847
利益剰余金	127,635	133,769
自己株式	△339	△591
株主資本合計	140,296	146,681
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,501	26,019
為替換算調整勘定	△9,595	△4,020
退職給付に係る調整累計額	△436	△484
その他の包括利益累計額合計	17,469	21,514
新株予約権	112	76
非支配株主持分	14,893	14,699
純資産合計	172,771	182,971
負債純資産合計	240,510	250,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
売上高	140,760	169,096
売上原価	126,032	148,562
売上総利益	14,727	20,533
販売費及び一般管理費	16,032	17,248
営業利益又は営業損失(△)	△1,304	3,285
営業外収益		
受取利息	370	278
受取配当金	467	498
持分法による投資利益	53	359
為替差益	—	141
助成金収入	557	212
電力販売収益	64	65
その他	690	737
営業外収益合計	2,203	2,294
営業外費用		
支払利息	124	111
為替差損	839	—
電力販売費用	30	28
その他	444	262
営業外費用合計	1,439	402
経常利益又は経常損失(△)	△539	5,176
特別利益		
固定資産売却益	37	62
投資有価証券売却益	—	4,542
関係会社出資金売却益	—	1,235
貸倒引当金戻入額	—	161
製品保証引当金戻入額	522	—
受取保険金	—	400
収用補償金	—	187
補助金収入	—	347
特別利益合計	560	6,936
特別損失		
固定資産売却損	3	9
固定資産除却損	89	39
固定資産圧縮損	—	297
製品保証引当金繰入額	2,114	123
特別損失合計	2,207	470
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,187	11,642
法人税、住民税及び事業税	910	2,602
法人税等調整額	△745	263
法人税等合計	164	2,866
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,352	8,776
非支配株主に帰属する四半期純利益	597	1,072
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,949	7,704

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,352	8,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,724	△1,480
為替換算調整勘定	△173	6,363
退職給付に係る調整額	87	△47
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	265
その他の包括利益合計	△2,813	5,099
四半期包括利益	△5,165	13,875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,823	11,748
非支配株主に係る四半期包括利益	657	2,126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載しました新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。